

令和3年度 道徳教育地域支援委託事業

研究主題 **互いに支え合い 高め合い、生き方についての考えを深める特別の教科 道徳をめざして**  
 ～道徳的価値を深める「考え、議論する」授業や振り返りを通して～

**研究の具体**

**道徳教育の充実を促す指導体制**

○指導体制の構築と推進

道徳プロジェクト担当教員が3つの推進プロジェクトに所属（①教材P、②連携P、③環境P）している。

研究授業の際には学年団の枠を越えて、指導案検討会を重ねることで「考え、議論する」道徳のあり方や成長やよさを実感できる振り返りのあり方を吟味している。

①教材P

- ・多面的・多角的に考えられる発問の吟味
- ・成長やよさを実感できる振り返りの実践

②連携P

- ・道徳通信「くすのき」の発行
- ・ボランティア活動を通じた心の醸成

③環境P

- ・朝道徳の振り返りの学年を超えた共有
- ・心に問いかけ、内省させる掲示の充実

**考え・議論する道徳の授業づくり**

○問題解決的な道徳学習の充実

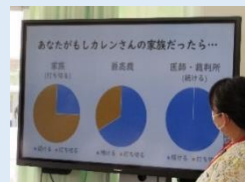
教材への自我関与の意識を高める学習課題の設定。

○時間・対象・条件・本質軸を変えた問い返し

いろいろな考え方に触れる中で、多面的・多角的な見方へと発展させる発問や問い返しの探究。

○自らの成長やよさを実感させる評価と3観点の振り返り

ローテーション道徳による様々な教員の評価と、「わかる」・「つなぐ」・「いかす」の3観点での振り返りの積み重ね。



**全教員でつくる朝道徳**

○道徳に関する支持的風土づくり

道徳的価値を深める掲示の作成や、資料作成、生徒の振り返りの共有環境の整備は、道徳プロジェクトだけではなく、全教員で取り組んでいる。

特に、毎週月曜日の朝の学活で行っている「朝道徳」で使用する資料は全教員でローテーションを組んで、作成を担当している。生徒の実態や時事に合った話題を様々な教員の目線で資料にしており、全学年同じ資料を使っている。校内の廊下に朝道徳コーナーを作り、1人1人の考えの違いのよさを感じさせる工夫をしている。

○作成した資料の例

- ・復活のヒロイン 池江璃花子
- ・ヘルプマーク
- ・心のコップ
- ・お店、あけてもいいかな？



**研究の検証及び改善の手立て**

令和2年度の県学習状況調査における生徒質問紙の社会性・道徳性に関わる質問項目では、肯定的な回答がおおむね県平均を超えた。しかし、将来の夢や自己肯定感に関する項目では肯定的な回答は県平均を下回る結果となった。そこで、授業及び教育活動全体を通じた道徳教育の更なる推進により、多様な体験を積み重ね、道徳的価値を基に自己を見つめ、互いの考えを交流し合うことにより、人間としてのあり方、生き方について、多面的・多角的に考えさせる指導方法を模索し、本校の教育目標を実現したいと考える。